

平成 27 年度用小学校音楽

指導計画案

株式会社 教育芸術社

【本資料について】

- ・インターネット上で公開されている本資料は、弊社発行の平成 27 年度用小学校音楽教科書「小学生の音楽」に基づいて作成されております。

【本資料の扱い方について】

- ・扱い時数は目安を示したものです。行事などで授業時数に変更が生じてしまう場合には、巻末教材に配当された時数を活用したり、教材の選択や学習活動に軽重を付けたりするなどの調整を適宜行ってください。
- ・ここに掲載されている評価規準は、国立教育政策研究所が作成した「評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料」を参考にして、本資料に示された学習内容に即して設定された一つの参考例です。各学校や児童の実態に応じて評価規準を設定する際の一助としてご活用ください。
- ・本資料では、1 時間当たり 1～2 項目に精選して評価規準を示しています。学習指導要領との関連で示した項目がすべての評価項目に反映されていないことがあります。学習内容の中には反映されていますので、授業時数や1年間の評価計画に応じて、ご設定ください。

【2 学期制への対応について】

- ・本資料は 2 学期制、3 学期制にかかわらず、活用することができます。週ごとの授業時数や長期休暇の実施時期などは地域や学校ごとに異なっているため、各校の実態に応じて扱い時数などを調整しながら指導される学期や月を設定してください。なお、各題材の関連やくくりなどを確認するための題材の系統性につきましては、「6 年間の題材の系統一覧」をご覧ください。

題材名	1. ゆたかな歌声をひびかせよう (4月)	扱い時数の目安
		3時間
題材のねらい	●音程やリズムに気を付けて視唱したり，曲想を生かしながら自然で無理のない歌い方で歌ったりする。	
題材の意図	この題材では，歌詞の内容や曲想にふさわしい表現を工夫しながら，自然で無理のない，響きのある歌い方で歌う学習を進めます。教材は，クラス替えや友人関係を意識した歌詞をもつ歌唱教材と，共通教材の「こいのぼり」が配置されています。4年生までに学習してきたリズムや強弱，旋律の音の上がり下がり，曲の山などの音楽を形づくっている要素との関連を振り返りながら学習を展開しましょう。 また，伴奏をよく聴いて，伴奏の響きやその変化が生み出す曲想を感じ取りながら歌うようにし，各パートや全体の響きを聴き合いながら声を合わせて歌う学習の準備をします。	
学習指導要領との関連	ア 音楽を形づくっている要素のうち，(ア)の音楽を特徴付けている要素及び(イ)の音楽の仕組み イ 音符，休符，記号や音楽にかかわる用語	
A表現(1)歌唱ア・イ・ウ・エ	〔共通事項〕ア(ア)音色，リズム， 旋律 ， 強弱 ，音の重なり，フレーズ (イ)変化	

題材の評価規準			
音楽への関心・意欲・態度(関)	音楽表現の創意工夫(創)	音楽表現の技能(技)	鑑賞の能力(鑑)
①ハ長調の楽譜を見たり，歌詞の内容を理解したりして歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 ②歌詞の内容を生かした表現を工夫し，思いや意図をもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。	①伴奏の変化を聴き取り，旋律と伴奏のかかわりが生み出すよさを感じ取りながら，曲想を生かした表現を工夫し，どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	①呼吸や発音の仕方に気を付けて，旋律の重なり合いを聴きながら，響きのある声で歌っている。 ②リズムや強弱を生かした曲想にふさわしい表現で歌っている。	

※本題材の学習内容に関連する〔共通事項〕を例示し，核となるものについては，**太字**で示しています。

学習目標	教材名 ◎…共通教材 ♪…鑑賞 ☆…音楽づくり	の 扱 い 時 数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
曲の感じを生かして，明るい声で歌いましょう。	すてきな一歩	1 2	●歌詞の内容や旋律の音の動き，強弱に気を付けて歌う。 ●主な旋律と副次的な旋律を合わせて歌う。 ●伴奏を聴き，曲想の変化を感じ取って表現の工夫をする。 ●主な旋律と副次的な旋律が重なる面白さを感じ取りながら二部合唱をする。	◆ハ長調の楽譜を見たり，歌詞の内容を理解したりして歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 【関① 発言内容，表情観察】 ◆伴奏の変化を聴き取り，旋律と伴奏のかかわりが生み出すよさを感じ取りながら，曲想を生かした表現を工夫し，どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 【創① 演奏聴取，発言内容】 ◆呼吸や発音の仕方に気を付けて，旋律の重なり合いを聴きながら，響きのある声で歌っている。 【技① 演奏聴取】
曲の感じを生かして，明るくひびきのある声で歌いましょう。	◎こいのぼり	3	●歌詞の内容を理解し，情景を想像しながら，思いや意図をもって歌う。 ●リズムや強弱，曲の山を生かした歌い方を工夫し，明るく響きのある声で歌う。	◆歌詞の内容を生かした表現を工夫し，思いや意図をもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 【関② 表情観察，演奏観察】 ◆リズムや強弱を生かした曲想にふさわしい表現で歌っている。 【技② 演奏聴取】

題材名	2. いろいろな音のひびきを味わおう (5～7月)	扱い時数の目安
		1 1 時間
題材のねらい	<p>●楽器の音の特徴や音色の違い，旋律と旋律，旋律と伴奏が重なり合う響きを味わって聴いたり，演奏したりする。</p> <p>●楽器の音色や音が組み合わさる響き，音楽の仕組みを生かして，音楽をつくったり演奏したりする。</p>	
題材の意図	<p>4年生の「4. せんりつの重なりを感じ取ろう」と「5. いろいろな音のひびきを感じ取ろう」の題材が統合され，発展したこの題材では，歌声やいろいろな楽器の音が重なり合うそれぞれの響きを味わい，それを生かして演奏の仕方を工夫する活動を中心に学習を進めていきます。中学年までに学習してきたいろいろな楽器の音色や音が重なる響きの美しさ，さらに，旋律の重なり方の違いが生み出す曲想を感じ取りながら，音の重なり合いに焦点を当てて進めましょう。</p> <p>また，イ短調の楽譜を見て演奏する学習も始まりますので，長調の音階の響きとの違いを味わうようにします。</p>	
学習指導要領との関連	<p>ア 音楽を形づくっている要素のうち，(ア)の音楽を特徴付けている要素及び(イ)の音楽の仕組み</p> <p>イ 音符，休符，記号や音楽にかかわる用語</p>	
	<p>A表現 (1) 歌唱イ・ウ・エ (2) 器楽ア・イ・ウ・エ (3) 音楽づくりア・イ</p> <p>B鑑賞 イ・ウ</p> <p>〔共通事項〕ア (ア) 音色，リズム，旋律，強弱，音の重なり，音階，調，拍の流れ，フレーズ</p> <p>(イ) 反復，問いと答え，変化，音楽の縦と横の関係</p> <p>イ アクセント，ヘ音記号</p>	

※本題材の学習内容に関連する〔共通事項〕を例示し，核となるものについては，太字で示しています。

題材の評価規準			
音楽への関心・意欲・態度(関)	音楽表現の創意工夫(創)	音楽表現の技能(技)	鑑賞の能力(鑑)
<p>①イ短調の楽譜を見て演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>②旋律の重なり合う響きに興味・関心をもって歌う学習に意欲的に取り組もうとしている。</p> <p>③いろいろな音が重なり合う響きやリズムの面白さに興味・関心を持ち，歌ったり演奏したりする学習に意欲的に取り組もうとしている。</p> <p>④弦楽器の音色や旋律の重なり方に興味・関心を持ち，楽曲の特徴や演奏のよさを理解して聴く学習に意欲的に取り組んでいる。</p> <p>⑤いろいろな楽器の音が組み合わさる響きに興味・関心を持ち，反復，問いと答え，変化，音楽の縦と横の関係を生かして音楽をつくる学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>①互いの声や旋律の重なりを聴き取り，全体の響きに変化していく面白さを感じ取りながら重ね方を工夫し，どのように歌うかについて自分の考えや意図をもっている。</p> <p>②互いの楽器の音の重なりを聴き取り，全体の響きに変化していく面白さを感じ取りながらパートの重ね方を工夫し，どのように演奏するかについて自分の考えや意図をもっている。</p> <p>③楽器の音色を聴き取り，その組合せによる響きを感じ取りながら，反復，問いと答え，変化，音楽の縦と横の関係を生かし，どのようなリズムアンサンブルにしたらいいかについて，見通しをもっている。</p>	<p>①イ短調の響きを感じ取り，互いの音を聴き合いながら，自分の音を調和させて演奏している。</p> <p>②歌詞の内容や旋律の重なり方の違いを生かした表現で歌っている。</p> <p>③互いの楽器の音や旋律，リズムの重なりを聴き合いながら，パートの重ね方による全体の響きの変化を生かして，演奏している。</p> <p>④楽器の音色やリズムを組み合わせ，反復，問いと答え，変化，音楽の縦と横の関係を生かして，リズムアンサンブルをつくっている。</p>	<p>①弦楽器の音色や旋律の重なり方の変化から感じ取ったことを言葉で表すなどして，楽曲の特徴や演奏のよさを理解して聴いている。</p>

学習目標	教材名 ◎…共通教材 ♪…鑑賞 ☆…音楽づくり	の 扱 い 時 数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
リコーダーの音が重なり合うひびきを感じながら演奏しましょう。	小さな約束	1 2	●イ短調の響きを感じ取って、主な旋律を演奏する。 ●旋律の特徴に気付いて、副次的な旋律を演奏する。 ●短調の響きを感じ取りながら二部合奏をする。	◆イ短調の楽譜を見て演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 【関① 演奏観察】 ◆イ短調の響きを感じ取り、互いの音を聴き合いながら、自分の音を調和させて演奏している。 【技① 演奏観察, 演奏聴取】
歌声が重なり合うひびきを感じながら合唱しましょう。	いつでもあの海は	3 4	●曲の感じをつかみ、フレーズを感じながら主な旋律を歌う。 ●旋律の重なり方の違いを感じ取って副次的な旋律を歌う。 ●旋律の重なり方の違いを生かした表現を工夫して二部合唱する。 ●歌詞の内容や楽曲の特徴を生かして二部合唱する。	◆旋律の重なり合う響きに興味・関心をもって歌う学習に意欲的に取り組もうとしている。 【関② 発言内容, 演奏観察】 ◆互いの声や旋律の重なりを聴き取り、全体の響きが変化していく面白さを感じ取りながら重ね方を工夫し、どのように歌うかについて自分の考えや意図をもっている。 【創① 発言内容, 演奏聴取】 ◆歌詞の内容や旋律の重なり方の違いを生かした表現で歌っている。 【技② 演奏聴取】
いろいろな楽器の音が重なり合うひびきを楽しみながら演奏しましょう。	リボンのおどり (ラ バンバ)	5 6 7	●リズムカルな曲想をつかんで歌う。 ●各パートの旋律の特徴をつかんで演奏する。 ●重なり合う響きの変化の面白さを生かして、表現の工夫をする。 ●グループで工夫した「リボンのおどり」を発表し合う。	◆いろいろな音が重なり合う響きやリズムの面白さに興味・関心をもち、歌ったり演奏したりする学習に意欲的に取り組もうとしている。 【関③ 演奏観察】 ◆互いの楽器の音の重なりを聴き取り、全体の響きが変化していく面白さを感じ取りながらパートの重ね方を工夫し、どのように演奏するかについて自分の考えや意図をもっている。 【創② ワークシート, 演奏聴取】 ◆互いの楽器の音や旋律、リズムの重なりを聴き合いながら、パートの重ね方による全体の響きの変化を生かして、演奏している。 【技③ 演奏聴取】
いろいろな楽器の音が重なり合うひびきを味わいながらききましょう。	♪アイネ クライネ ナハトムジーク 第1楽章 ♪双頭のわしの旗の下に ※「双頭のわしの旗の下に」の鑑賞は、授業の進度に応じて取り扱うようにする。	8	●弦楽器の音色や響きを感じ取って「アイネ クライネ ナハトムジーク 第1楽章」を聴く。 ●旋律の重なり方に気を付けて聴く。 ●「双頭のわしの旗の下に」を聴き、楽器による音色の響きを聴き比べる。	◆弦楽器の音色や旋律の重なり方に興味・関心をもち、楽曲の特徴や演奏のよさを理解して聴く学習に意欲的に取り組んでいる。 【関④ 発言内容, 表情観察】 ◆弦楽器の音色や旋律の重なり方の変化から感じ取ったことを言葉で表すなどして、楽曲の特徴や演奏のよさを理解して聴いている。 【鑑① 発言内容, 行動観察】
打楽器の音色や音楽のしくみを生かして、リズムアンサンブルをつくりましょう。	☆リズムを選んでアンサンブル	9 10 11	●いろいろなリズムや音色の組合せを楽しむ。 ●反復、問いと答え、変化、音楽の縦と横の関係について知り、リズムアンサンブルをつくる見通しをもつ。 ●音楽の仕組みを生かして、自分たちのリズムアンサンブルをつくる。	◆いろいろな楽器の音が組み合わさる響きに興味・関心をもち、反復、問いと答え、変化、音楽の縦と横の関係を生かして音楽をつくる学習に主体的に取り組もうとしている。 【関⑤ 行動観察】 ◆楽器の音色を聴き取り、その組合せによる響きを感じ取りながら、反復、問いと答え、変化、音楽の縦と横の関係を生かし、どのようなリズムアンサンブルにしたらよいかについて、見通しをもっている。 【創③ ワークシート, 演奏観察】 ◆楽器の音色やリズムを組み合わせ、反復、問いと答え、変化、音楽の縦と横の関係を生かして、リズムアンサンブルをつくっている。 【技④ 演奏聴取】

題材名	3. 和音の美しさを味わおう (9月)	扱い時数の目安
		4時間
題材のねらい	● I, IV, Vなどの和音の違いを感じ取って演奏したり, 和音の響きの変化を感じ取って歌ったりする。	
題材の意図	この題材では, 和音及び和声の響きの美しさを味わうことを中心に学習を進めていきます。これまでに, 様々な活動を通して, 旋律や音が重なり合うきれいな響きを感じ取ってきましたが, ここでは, 和音の響きの違いや和音の移り変わりを感じ取りながら, 和声の響きの美しさを味わうようにします。また, 和音の付け方によって変わる曲の表情の違いも感じ取るようにします。ここで学習する和音は, ハ長調の I, IV, V, V7が中心で, その響きの美しさが感じられる豊かな表現を目指して, 表現の仕方を工夫していくようにします。併せて, 前の題材から学習を始めたへ音譜表の視奏に慣れ親しむ活動も進めていくようにしましょう。	
学習指導要領との関連	ア 音楽を形づくっている要素のうち, (ア) の音楽を特徴付けている要素及び (イ) の音楽の仕組み イ 音符, 休符, 記号や音楽にかかわる用語	
	A表現 (1) 歌唱ア・ウ・エ (2) 器楽ア・エ 〔共通事項〕ア (ア) 旋律, 音の重なり, 和声の響き イ 全音符	

※本題材の学習内容に関連する〔共通事項〕を例示し, 核となるものについては, **太字**で示しています。

題材の評価規準			
音楽への関心・意欲・態度(関)	音楽表現の創意工夫(創)	音楽表現の技能(技)	鑑賞の能力(鑑)
①和音の響きやその移り変わりに興味・関心を持ち, それらの美しさを感じ取りながら歌ったり演奏したりする学習に意欲的に取り組もうとしている。	①和音の響きを聴き取り, 和音の移り変わりによる響きの違いを感じ取りながら, 声を合わせて表現を工夫し, どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	①和音と低音のパートの響きやその移り変わりを感じ取りながら, 歌ったり演奏したりしている。 ②主な旋律と副次的な旋律が重なる響きを感じ取りながら, 友達の声と調和させて合唱している。	

学習目標	教材名 ◎…共通教材 ♪…鑑賞 ☆…音楽づくり	の 扱 い 時 数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
和音の移り変わりを感じながら演奏しましょう。	静かにねむれ	1 2	<ul style="list-style-type: none"> ●伴奏の響きを感じながら、曲全体の感じをつかんで主な旋律を歌う。 ●和音の響きを感じ取りながら、和音と低音のパートを演奏する。 ●和音と低音の響きの移り変わりを感じ取りながら、歌ったり演奏したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆和音の響きやその移り変わりに興味・関心をもち、それらの美しさを感じ取りながら歌ったり演奏したりする学習に意欲的に取り組もうとしている。 【関① 演奏観察】 ◆和音と低音のパートの響きやその移り変わりを感じ取りながら、歌ったり演奏したりしている。 【技① 演奏聴取】
和音の移り変わりを感じながら合唱しましょう。	こげよ マイケル (Michael, row the boat ashore)	3 4	<ul style="list-style-type: none"> ●楽曲の特徴を感じ取って、主な旋律を歌う。 ●互いの声の響き合いや伴奏の響きを意識し、声の出し方を工夫しながら合唱する。 ●和音の響きやその移り変わりを感じながら合唱する。 ●和音によって曲想が変化する面白さを感じ取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆和音の響きを聴き取り、和音の移り変わりによる響きの違いを感じ取りながら、声を合わせて表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 【創① 演奏聴取】 ◆主な旋律と副次的な旋律が重なる響きを感じ取りながら、友達の声と調和させて合唱している。 【技② 演奏聴取】 ◆和音の響きやその移り変わりに興味・関心をもち、それらの美しさを感じ取りながら歌ったり演奏したりする学習に意欲的に取り組もうとしている。 【関① 表情観察，行動観察】

題材名	4. 曲想を味わおう (10~11月)	扱い時数の目安
		7時間
題材のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ●言葉の感じや曲想にふさわしい表現を工夫して、思いや意図をもって演奏する。 ●曲想とその変化を感じ取りながら、楽曲の構造に気を付けて聴く。 	
題材の意図	<p>これまで様々な活動を通して、旋律の音の上がり下がりやリズム、速度や強弱、和声の響きや調、そして旋律やリズムの反復や問いと答え、変化、音楽の縦と横の関係などについて学習してきました。この題材では、これらのいろいろな音楽を形づくっている要素が一体となって醸し出す曲想を味わうための学習を展開します。それぞれの音楽を形づくっている要素や歌詞の内容と曲想とのかかわり合いに気付きながら、曲想やその変化を感じ取って、音楽を想像豊かに聴いたり、思いや意図をもって表現の仕方を工夫したりすることを中心に学習を進めていきます。</p>	
学習指導要領との関連	<p>ア 音楽を形づくっている要素のうち、(ア)の音楽を特徴付けている要素及び(イ)の音楽の仕組み イ 音符、休符、記号や音楽にかかわる用語</p>	
	<p>A表現 (1) 歌唱イ・ウ (2) 器楽ア・イ・ウ・エ B鑑賞 ア・イ・ウ 〔共通事項〕ア (ア) 音色, リズム, 速度, 旋律, 強弱, 音の重なり, 和声の響き, 拍の流れ, フレーズ (イ) 反復, 変化, 問いと答え, 音楽の縦と横の関係 イ フラット, ナチュラル</p>	

※本題材の学習内容に関連する〔共通事項〕を例示し、核となるものについては、太字で示しています。

題材の評価規準			
音楽への関心・意欲・態度(関)	音楽表現の創意工夫(創)	音楽表現の技能(技)	鑑賞の能力(鑑)
<p>①リズムや旋律、速度や強弱のかかわり合い、変化によってつくられる楽曲の構造を理解して聴く学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>②歌詞と旋律やリズム、強弱とのかかわりに興味・関心を持ち、曲想にふさわしい表現で歌う学習に意欲的に取り組もうとしている。</p> <p>③互いの楽器の音、リズムや旋律の重なり、反復や変化に興味・関心を持ち、曲想の変化に応じた表現の工夫をしながら合奏する学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>①リズムや旋律の反復、強弱の変化を聴き取り、それらと歌詞の語感とのかかわり合いを感じ取りながら、曲想を生かした表現を工夫し、発声や強弱を付けた歌い方について思いや意図をもっている。</p> <p>②互いの楽器の音、リズムや旋律の重なり、反復や変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、曲想の変化に合う表現を工夫し、どのような演奏にするかについて思いや意図をもっている。</p>	<p>①語感を生かしながら、歌詞の内容や曲想に合う歌い方で表情豊かに歌っている。</p> <p>②楽器の音色や旋律の特徴を生かして、旋律楽器や打楽器を演奏している。</p> <p>③互いの楽器の音、リズムや旋律の重なり、反復と変化を聴き合い、曲想の変化を味わいながら楽器を演奏している。</p>	<p>①リズムや主な旋律の反復、変化などを聴き取り、それらが速度や強弱とかかわり合って生み出すよさや面白さを感じ取りながら、楽曲の構造を理解して聴いている。</p> <p>②曲想とその変化や、オーケストラの響きと和音の移り変わりとかかわり合いから、想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして、楽曲の特徴や演奏のよさを理解して聴いている。</p>

学習目標	教材名 ◎…共通教材 ♪…鑑賞 ☆…音楽づくり	の 扱 い 時 数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
曲想の移り変わりを感じ取りながらききましょう。	♪威風堂々 第1番 威風堂々	1 2	●曲想とその変化に気を付けて聴き、楽曲の構造に気付く。 ●曲想が移り変わる面白さを感じ取って聴く。 ●イの部分の主な旋律を演奏し、旋律に親しむ。 ●曲想の変化や和音の響きの美しさを味わって聴く。	◆リズムや旋律、速度や強弱のかかり合い、変化によってつくられる楽曲の構造を理解して聴く学習に主体的に取り組もうとしている。 【関① 行動観察】 ◆リズムや主な旋律の反復、変化などを聴き取り、それらが速度や強弱とかかり合って生み出すよさや面白さを感じ取りながら、楽曲の構造を理解して聴いている。 【鑑① 発言内容、ワークシート】 ◆曲想とその変化や、オーケストラの響きと和音の移り変わりとかかり合いから、想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして、楽曲の特徴や演奏のよさを理解して聴いている。 【鑑② 発言内容、ワークシート】
言葉の感じや曲想を生かして歌いましょう。	まっかな秋	3 4	●範唱を聴いたり歌詞を音読したりして、言葉の繰り返しや旋律の特徴に気付く。 ●歌詞と旋律の関係や強弱記号とかかり合いに気付いて、歌い方を工夫する。 ●語感や強弱記号を生かして、主な旋律を歌う。	◆歌詞と旋律やリズム、強弱とかかり合いに興味・関心をもち、曲想にふさわしい表現で歌う学習に意欲的に取り組もうとしている。 【関② 表情観察】 ◆リズムや旋律の反復、強弱の変化を聴き取り、それらと歌詞の語感とかかり合いを感じ取りながら、曲想を生かした表現を工夫し、発声や強弱を付けた歌い方について思いや意図をもっている。 【創① 発言内容、演奏観察】 ◆語感を生かしながら、歌詞の内容や曲想に合う歌い方で表情豊かに歌っている。 【技① 演奏聴取】
曲想を生かして合奏しましょう。	キリマンジャロ	5 6 7	●曲想を感じ取って全体を聴く。 ●旋律の特徴を生かして主な旋律を演奏する。 ●楽器や旋律の特徴を生かして演奏する。 ●曲想の変化を感じ取って表現の仕方を工夫する。 ●曲想を生かして合奏する。	◆互いの楽器の音、リズムや旋律の重なり、反復や変化に興味・関心をもち、曲想の変化に応じた表現の工夫をしながら合奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 【関③ 行動観察】 ◆楽器の音色や旋律の特徴を生かして、旋律楽器や打楽器を演奏している。 【技② 演奏聴取】 ◆互いの楽器の音、リズムや旋律の重なり、反復や変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、曲想の変化に合う表現を工夫し、どのような演奏にするかについて思いや意図をもっている。 【創② 発言内容、演奏聴取】 ◆互いの楽器の音、リズムや旋律の重なり、反復と変化を聴き合い、曲想の変化を味わいながら楽器を演奏している。 【技③ 演奏聴取】

題材名	5. 詩と音楽を味わおう (12月)	扱い時数の目安
		4時間
題材のねらい	●言葉の感じと旋律が一体となって生み出す日本歌曲の美しさを味わいながら聴いたり、歌ったりする。	
題材の意図		
<p>我が国には優れた歌曲の作品が多くあり、それらは日本語の美しい歌詞と、言葉のもつ語感を大切にしておられた旋律とが一体となって、歌う人や聴く人の心をとらえます。</p> <p>この題材では、「待ちぼうけ」を中心に山田耕筰の作品を取り上げ、歌詞と旋律が一体となって生み出す曲想を感じ取りながら聴いたり、さらに、いろいろな声の種類や演奏形態の違いによる、それぞれの歌曲の美しさを味わいながら聴いたりします。</p> <p>指導を進めるに当たっては、詩の音読を通して言葉のもつリズムやアクセントを感じ取ったりその情景を思い浮かべたりしながら、語感がそのまま旋律に生かされていることを感じ取って、曲想を味わいながら聴くようにします。このときに、想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして、友達に伝えるなどしながら、楽曲の特徴や演奏のよさを理解することにつなげていきます。</p> <p>また、演奏者による詩の内容を生かした表現の工夫やよさを味わったり、その表現を参考にして自分の思いを込めて歌ったりして、日本の歌曲や表現の仕方などに興味・関心をもちながら、学習を展開していきます。冬にちなんだ共通教材も配置していますので、山田耕筰の歌曲の鑑賞で得たことを生かして、豊かな表現で歌うようにしましょう。</p>		
学習指導要領との関連	ア 音楽を形づくっている要素のうち、(ア)の音楽を特徴付けている要素及び(イ)の音楽の仕組み イ 音符、休符、記号や音楽にかかわる用語	
A表現 (1) 歌唱イ・ウ・エ B鑑賞 ア・イ・ウ 〔共通事項〕ア (ア) 音色, リズム, 速度, 旋律 , 強弱 , フレーズ (イ) 反復, 変化		

※本題材の学習内容に関連する〔共通事項〕を例示し、核となるものについては、**太字**で示しています。

題材の評価規準			
音楽への関心・意欲・態度(関)	音楽表現の創意工夫(創)	音楽表現の技能(技)	鑑賞の能力(鑑)
①詩と音楽が一体となった日本の歌曲のよさや特徴に気を付けて聴く学習に主体的に取り組もうとしている。 ②歌詞の内容や曲想を生かした表現を工夫し、思いや意図をもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。	①リズムや旋律、フレーズを聴き取り、それらと強弱の変化とのかかわり合いを感じ取りながら、歌詞の内容や曲想などを生かした表現を工夫し、どのように歌うかについて自分の思いや意図をもっている。	①呼吸や発音の仕方に気を付けて、言葉の感じや曲想にふさわしい自然で無理のない、響きのあがる歌い方で歌っている。	①リズムや旋律、強弱の変化と歌詞とのかかわりに気づき、詩と音楽が一体となった日本の歌曲の美しさを感じ取ったり、詩の内容や音楽との結び付きを理解したりして、表現の工夫を味わいながら聴いている。 ②声の種類や演奏形態による響きの違いから想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして、日本の歌曲の特徴や演奏のよさを理解して聴いている。

学習目標	教材名 ◎…共通教材 ♪…鑑賞 ☆…音楽づくり	の 扱 い 時 数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
日本語の言葉の感じを生かした歌曲を楽しみましょう。	山田耕筰の歌曲 (待ちぼうけ／赤とんぼ／この道)	1 2	●言葉の抑揚やリズム，語感を感じ取りながら，詩の内容をとらえる。 ●言葉の感じと結び付いた旋律のよさや楽曲の特徴を感じ取って聴く。 ●曲想や表現の工夫を味わって聴く。 ●声の種類や演奏形態の違いが生み出す演奏のよさを味わって聴く。	◆詩と音楽が一体となった日本の歌曲のよさや特徴に気を付けて聴く学習に主体的に取り組もうとしている。 【関① 表情観察，行動観察】 ◆リズムや旋律，強弱の変化と歌詞とのかかわりに気付き，詩と音楽が一体となった日本の歌曲の美しさを感じ取ったり，詩の内容や音楽との結び付きを理解したりして，表現の工夫を味わいながら聴いている。 【鑑① 表情観察，ワークシート】 ◆声の種類や演奏形態による響きの違いから想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして，日本の歌曲の特徴や演奏のよさを理解して聴いている。 【鑑② 表情観察，発言内容】
歌詞の表す情景を思いうかべながら，強弱記号に気をつけて歌いましょう。	◎冬げしき	3	●時間や場面が変わっていく情景を想像しながら歌詞を読み，歌詞唱をする。 ●歌詞の内容を味わい，旋律の特徴に気を付けて，主な旋律を歌う。	◆歌詞の内容や曲想を生かした表現を工夫し，思いや意図をもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 【関② 表情観察，ワークシート，発言内容】 ◆呼吸や発音の仕方に気を付けて，言葉の感じや曲想にふさわしい自然で無理のない，響きのある歌い方で歌っている。 【技① 演奏聴取】
旋律の音の上がり下がりやリズムの特徴を生かして歌いましょう。	◎スキーの歌	4	●歌詞を読んだり範唱を聴いたりして，情景を想像しながら主な旋律を歌う。 ●旋律やリズムの特徴，フレーズを生かして，主な旋律の歌い方を工夫する。	◆歌詞の内容や曲想を生かした表現を工夫し，思いや意図をもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 【関② 演奏観察，発言内容】 ◆リズムや旋律，フレーズを聴き取り，それらと強弱の変化とのかかわり合いを感じ取りながら，歌詞の内容や曲想などを生かした表現を工夫し，どのように歌うかについて自分の思いや意図をもっている。 【創① 発言内容，演奏聴取】

題材名	6. 日本と世界の音楽に親しもう (1月)	扱い時数の目安 5時間
題材のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ●日本や世界の国々の音楽のよさや、声や楽器の響きの美しさを味わい、それらの特徴を感じ取って聴く。 ●日本の旋律のもつ特徴や美しさを感じ取りながら歌ったり、音楽の仕組みを生かしながら見通しをもって日本の音階の音で旋律をつくったりする。 	
題材の意図		
<p>この題材では、我が国や諸外国の音楽の特徴を感じ取ったり、そのよさを味わったりしながら、それぞれの音楽に親しんでいくことができるように学習を進めます。</p> <p>我が国には、3、4年生で学習してきたお囃子や民謡をはじめ、人々によって昔から守り伝えられてきた様々な音楽があります。それらの音楽や使われている楽器のほとんどは、もともと遠い昔に大陸から他の文化と一緒に伝来したのですが、長い時間をかけて日本独特の風土や民族性に合うように改良され、形づくられてきました。このような音楽文化が我が国にあることに気付き、興味・関心をもちながら、その特徴を感じ取ったり、その美しさを味わったりするようにします。</p> <p>また、諸外国にも、それぞれの国の風土や民族性によってはぐくまれてきた独自の文化があり、我が国とは違った音楽文化があることに気付くとともに、それぞれの国の音楽のよさを感じ取ることで親しみを持ち、身近なものにしていくようにします。こうした学習は、自国の芸術や文化に誇りをもつだけでなく、他国の芸術や文化を尊重する態度を養うことにもつながり、国際理解の一翼を担うものです。</p>		
学習指導要領との関連	ア 音楽を形づくっている要素のうち、(ア)の音楽を特徴付けている要素及び(イ)の音楽の仕組み イ 音符、休符、記号や音楽にかかわる用語	
A表現 (1) 歌唱ア・イ (3) 音楽づくりイ B鑑賞 ア・イ・ウ [共通事項] ア (ア) 音色 、リズム、 旋律 、音階、拍の流れ (イ) 反復、問いと答え、変化		

※本題材の学習内容に関連する[共通事項]を例示し、核となるものについては、**太字**で示しています。

題材の評価規準			
音楽への関心・意欲・態度(関)	音楽表現の創意工夫(創)	音楽表現の技能(技)	鑑賞の能力(鑑)
①我が国や世界の国々の音楽に興味・関心を持ち、それぞれの音楽のよさを理解して聴く学習に主体的に取り組もうとしている。 ②日本の音階に興味・関心をもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 ③日本の音階に興味・関心を持ち、その音を使って旋律をつくったり組み合わせたりする学習に主体的に取り組もうとしている。	①日本の音階の特徴を聴き取り、その働きによって生まれるよさや面白さを感じ取って、リズムや使う音を選んで旋律をつくり、どのようにしてまとまりのある旋律をつくるかについて思いや意図をもっている。 ②与えられた音階の音とリズムを使って短い旋律をつくり、反復や問いと答え、変化などを生かして、友達がつくった旋律とつなげて4小節のまとまりのある旋律をつくっている。	①旋律の特徴を感じ取り、曲想を生かした表現で歌っている。 ②与えられた音階の音とリズムを使って短い旋律をつくり、反復や問いと答え、変化などを生かして、友達がつくった旋律とつなげて4小節のまとまりのある旋律をつくっている。	①箏と尺八の音色や旋律を聴き取り、二つの楽器のかかわり合いや旋律の反復、変化が生み出すよさや面白さを感じ取りながら、曲想の変化を味わい、楽曲の構造を理解して聴いている。 ②声の特徴や音楽の雰囲気の違いから想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして、世界の国々の音楽のよさや面白さを理解して聴いている。

学習目標	教材名 ◎…共通教材 ♪…鑑賞 ☆…音楽づくり	の 扱 い 時 数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
和楽器のひびきと旋律の美しさを味わいながらききましょう。	♪春の海	1	●箏と尺八の音色に親しみ、全体の構成をつかんで聴く。 ●箏と尺八の音色や旋律のかかわり合いに気を付けて聴く。	◆我が国や世界の国々の音楽に興味・関心をもち、それぞれの音楽のよさを理解して聴く学習に主体的に取り組もうとしている。 【関① 表情観察】 ◆箏と尺八の音色や旋律を聴き取り、二つの楽器のかかわり合いや旋律の反復、変化が生み出すよさや面白さを感じ取りながら、曲想の変化を味わい、楽曲の構造を理解して聴いている。 【鑑① 発言内容、ワークシート】
日本の旋律の美しさを味わいながら歌いましょう。	◎子もり歌	2	●曲想を感じ取って歌う。 ●二つの旋律を、それぞれの感じの違いを味わって歌う。	◆日本の音階に興味・関心をもち歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 【関② 表情観察、発言内容】 ◆旋律の特徴を感じ取り、曲想を生かした表現で歌っている。 【技① 演奏聴取】
日本の音階を使って旋律をつくりましょう。	☆音階の音で旋律づくり	3 4	●ミ、ファ、ラ、シ、 $\bar{\text{ド}}$ 、 $\bar{\text{ミ}}$ の音階の音を確認する。 ●旋律の音の上がり下がりやリズム、終わりの音を工夫して、2小節の旋律をつくる。 ●まとまりやつながりが生み出すよさを感じ取りながら、友達の旋律と組み合わせ、まとまりのある旋律をつくる。	◆日本の音階に興味・関心をもち、その音を使って旋律をつくったり組み合わせたりする学習に主体的に取り組もうとしている。 【関③ 表情観察】 ◆日本の音階の特徴を聴き取り、その働きによって生まれるよさや面白さを感じ取って、リズムや使う音を選んで旋律をつくり、どのようにしてまとまりのある旋律をつくるかについて思いや意図をもっている。 【創① 演奏聴取、ワークシート】 ◆与えられた音階の音とリズムを使って短い旋律をつくり、反復や問いと答え、変化などを生かして、友達がつくった旋律とつなげて4小節のまとまりのある旋律をつくっている。 【技② 演奏聴取】
声による世界のいろいろな国の音楽に親しみましょう。	♪声による世界の国々の音楽	5	●世界の国々の音楽の歌声、歌い方の特徴や違い、雰囲気を感じ取って聴く。 ●それぞれの音楽の特徴やよさ、様々な声による表現を味わって聴く。	◆我が国や世界の国々の音楽に興味・関心をもち、それぞれの音楽のよさを理解して聴く学習に主体的に取り組もうとしている。 【関① 表情観察、発言内容】 ◆声の特徴や音楽の雰囲気の違いから想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして、世界の国々の音楽のよさや面白さを理解して聴いている。 【鑑② 表情観察、発言内容、ワークシート】

題材名	7. 心をこめて表現しよう (2~3月)	扱い時数の目安
		8時間
題材のねらい	●歌詞の内容や曲想にふさわしい表現を工夫して、思いや意図をもって響きのある声や音で演奏する。	
題材の意図	<p>5年生では、表現と鑑賞の様々な活動を通して、音色、リズム、速度、旋律、強弱、音の重なりや和声の響き、音階や調、拍の流れやフレーズなどについて学習しながら、音楽的な感性や表現の能力などを高めることを段階的に進めてきました。5年生最後の本題材では、これまでの学習のまとめとして、全体の曲想を感じ取り、みんなで声や気持ちを合わせて表現する喜びを味わいながら、心を込めて演奏することができるように学習を展開していきます。</p> <p>クラス全員で表現の工夫などについて話し合っ、ともに音楽をつくり上げていく喜びを味わいながら、表現の質を高めていくようにしましょう。</p>	
学習指導要領との関連	ア 音楽を形づくっている要素のうち、(ア)の音楽を特徴付けている要素及び(イ)の音楽の仕組み イ 音符、休符、記号や音楽にかかわる用語	
	A表現 (1) 歌唱イ・ウ・エ (2) 器楽ア・イ・ウ・エ [共通事項] ア (ア) 音色, 旋律 , 強弱 , 音の重なり , 調, 拍の流れ, フレーズ (イ) 変化, 音楽の縦と横の関係 イ スラー	

※本題材の学習内容に関連する〔共通事項〕を例示し、核となるものについては、**太字**で示しています。

題材の評価規準			
音楽への関心・意欲・態度(関)	音楽表現の創意工夫(創)	音楽表現の技能(技)	鑑賞の能力(鑑)
①歌詞の表す気持ちを読み取って、曲想にふさわしい表現を工夫し、思いや意図をもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 ②旋律の美しさや重なり合いを味わいながら、曲想を生かした表現を工夫し、思いや意図をもって演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。	①旋律や音の重なり、イ短調の響き、フレーズを聴き取り、二つのパートのかかわり合いやリズムの違いが生み出すよさや面白さを感じ取って、滑らかな表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。 ②旋律や強弱、フレーズなどを聴き取り、曲の山や旋律の重なり合いの違いが生み出すよさを感じ取りながら、声を合わせて歌う表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	①伴奏の響きを聴きながら、曲想にふさわしい豊かで響きのある声で、心を込めて歌っている。 ②互いの旋律を聴き合いながら、自分の音と友達の音とを調和させて重奏や合奏をしている。 ③互いの歌声を聴き合いながら、曲想にふさわしい歌い方で、表情豊かに合唱している。	

